

豊中市議会議員(保守系市民派・無所属)

福岡まさき

平成27年3月 後援会事務局発行 市政だより

三月定例会



市民派・無所属議員 奮闘の実績と今後の取組み (一部)

◇開発者負担金制度を廃止

役割を終えた制度を廃止することで豊中市内でのマンション等の分譲価格の一定額低下が可能となりました。

◇学校耐震化のスピード化を推進

全教室冷房化と命に関わる耐震化を優先順位をめぐり論争。市民の避難場所にもなる体育館耐震化の最優先を主張し直ちに実現。平成27年度中には校舎の90%以上を達成見込み。(残りの%は新築分)

◇企業立地促進条例

塩野義製薬創薬研究所(1000人規模)や(株)ニトリ、北陽電機(株)等々多数の誘致。更なる拡大への取組み。

◇老朽危険家屋に関する条例

次のステップ「空き家条例」の早期制定に取り組んでいます。

◇路上喫煙防止条例(駅周辺)

豊中駅、千里中央駅に続き全市域拡大に奮闘中。更に分煙対策としてJT(日本たばこ)の資金提供で喫煙場所設置。

◇地域自治推進条例 (3P参照)

校区単位の導入拡大や活性化につなげ、地域の自立や社会に対する帰属意識の向上と豊中に住む魅力の拡大へ。

◇子育て支援、老人施設の拡充に道

市有地の有効活用や公的機関の協力で待機児童の解消と高齢施策の拡充に貢献

◇照明のLED化に率先して取り組む

今では当たり前となった照明のLED化を10年前から提言。CO2の大幅削減と維持管理費や電力料金を億単位で削減。

◇生活保護制度の適正化取組み

不正受給を減らすことで真の弱者への救済の道を開くとともに、ジェネリック医薬品使用率向上等で財政負担の軽減。

◇公金の運用益に道を開く

151億円の基金を元金保証で確定利付き運用への道を提言し、財政への貢献が可能となりました。

❖これらは自らの提言や中心的役割を果たした施策の一部です。

「新政とよなか」議員団控え室

〒561-8501 豊中市中桜塚3丁目1番1号
TEL 6858-2620(直通) FAX 6852-2384

E-mail ximtechs@dab.hi-ho.ne.jp

豊中市議会 副議長 大阪府後期高齢議会 議長
(元)議会運営委員長 豊中市監査委員
空港問題特別委員長 豊中箕面老人H 議長

4月1日 から事務所オープン

新千里東町近隣センター内(東丘小東隣り)

(午前10時~12時、午後1時~3時)

お気軽にお立ち寄りください

豊中を変えましょう!





【福岡まさき】

活動日記

市民の笑顔が一層の励みに…

長年の地域活動や議員活動を通じて多くの相談や問題解決に取り組んできました。課題解決(解決できないが結論に至ったものを含む)やお役に立てた結果もあってか最近では、相談件数の増加とともに複雑高度な問題も持ち込まれるケースが多くなってきました。

個人の生活やトラブルに関するもの、市に対する要望や市政に関する意見、新規の条例制定や法律案件、国の関わりが必要なものまであります。特に最近では高齢化を反映してか、人生の終末期ならではの諸問題についても多くの相談が寄せられます。

こうした多くの問題解決には、これまでの地域活動や議員としての経験、民間でのコンサル経験の蓄積が大きく役立っています。しかし、複雑で多様化、高度化していく問題については、とても個人だけでは手におえないものもあり、顧問弁護士や各種専門士たち、役所の専門家たちとも連携しながら問題の解決に努めています。先日、友人を通じて持ち込まれた話はあまりの複雑さに整理と優先順位をつけるだけでも一苦労でしたが、多くの人たちとの連携や協力で解決への道が見え始めました。

受けた相談やご意見、要望についてはスピード感をもっての解決や安心・安全に繋げてこそ意味があります。お役に立

てた時の相談者の喜びの様子や自らの達成感は議員冥利に尽きるものです。



「福岡まさき」は豊中を変える政策集団「新政とよなか議員団」の一員として日々活動しています。「政治は結果とスピード」を信条として確実な成果をめざします。

不正受給の撲滅に取り組んで…

前号で生活保護の不正受給についてご報告しました。26年度は11月迄で156件、7,300万円の不正が発覚したため厳正な資格審査、悪質な手口の撲滅や不正受給による未回収等については法的手段で対応するよう要請してきました。

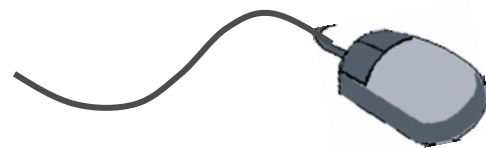
その後二件の不正受給者が逮捕され新聞報道されました。1件は自称ビル賃貸業の韓国籍女性で4年間にわたり1,100万円を不正受給。別の1件は3人の子どもに万引きを指示し両親が逮捕されたのだが、この父親は1年前から仕事での収入があるのを隠して生活保護費450万円を不正に受給した疑いも。

これだけ不正が頻繁に発覚すると制度そのものの在り方が問われると同時に、本来受給資格がある方にもご迷惑をかけることになります。不正の多さや「制度利用に頼る人の増加」には性善説に立った役所の審査方法や弱者の味方と称して制度利用を積極的に利用してきた特定の団体や政治集団の姿勢も一因だと考えられます。

これからも生活保護費の不正受給や節操のない受給者拡大を防ぐとともに、真の弱者にとって安心できる制度となるよう積極的に取り組みたいと考えています。



「一部をご報告」



広がり始めた「地域自治」の動き

経済状況の停滞とともに市税収入も伸び悩んでおり、何でも行政がサービスできる時代は過去のものとなりました。特に豊中市は阪神淡路大震災での復旧・復興に大きな財政負担を強いられたため財務体質の悪化から未だに完全回復していません。更に、急がれる少子・高齢化対策の充実に資金はいくらあっても足りない状況です。

こうした背景もあって地域の「まちづくり」を役人や一部の人に任せる「税金のムダ使い」は絶対に避けなければなりません。誰もが自分に出来ることで参加する地域力、市民力の強化がこれからの方向です。人と人が顔を合わせ、挨拶をし共に汗を出し作業をする。こうした市民が「まちづくり」の当事者になることこそが大切です。

「地域自治組織」第1号の新千里東町は長年の活動経験からこの方式に行きつきました。

今、市内初の先進的「まちづくり」は市の内外から高い評価を受けるとともに、この動きが他の小学校区へと広がり始めました。

しかし、議会の中には未だにこの条例に反対の議員が少数ですが存在します。市政に対する影響力のなさを「地域での存在感」のみでカバーしてきた議員にとっては、地域の自立は賛成しがたいことかもしれません。それにしても存在するだけの議員では寂しい限りです。これからも一部団体の利益代弁者やパ

フォーマンス政治とは一線を画した「ぶれない・媚びない・あきらめない」をモットーに確実な結果で貢献したいと考えています。



大きく変わる千里周辺地区

千里万博公園跡地の一部で二つの事業が始まっています。先日、北摂議長会のメンバーと一緒に現地視察を行いました。が（仮称）吹田市立スタジアムは、全額寄付で建設され今年の10月完成を目指しています。4万人収容の全観客席が屋根で覆われたサッカー専用スタジアムはガンバ大阪のホームグラウンドとして使用されます。また（仮称）エキスポランド跡地複合施設開発事業は三井不動産（株）が建設運営する事業で、日本最大の大型観覧車や水族館、数々のエンターテイメント施設、ショッピングセンターなど、子どもから大人まで1日中楽しめる施設で年間集客人数2000万人（一日6万人）以上を見込んでいます。

千里周辺ではこの他にも北急の延伸や茨木市の工場跡地に建設される大規模店舗の展開、近隣各市での学校誘致など大きなプロジェクトが目白押しです。

北大阪の新都心としての役割を果たしてきた千里中央地区が魅力的な住宅・商業地域として人々を引きつけていくためには、各種交通の結節点（ターミナル駅）としての優位性を活かすとともに、大胆かつ独創的魅力的「まちづくり」がこれから始まる再整備事業に求められます。

今後の千里再整備については、千里に住むただ一人の影響力と実績を持つ市民派議員として私の真価が問われることとなります。これまでの路上喫煙禁止条例制定や分煙対策、過剰な車の総量抑制（一部実現）や安全環境対策の他、魅力創造の提言、少子化・高齢化に絡む施策の実現など、これまで以上の努力と成果が必要となってきます。

3月定例会…まだまだ豊中を変えんと！

・事故を未然に防ぐことが

公共インフラの老朽化対策で早期にハイテク機器を使った検査導入を提案。先日実施された最新機器による路面空洞調査で道路や歩道9か所の危険個所が発見され、そのうちの一つは交通量の多い車道で大きな空洞が路面下にあるのを発見、走行車両が巻き込まれたら大惨事になるのを未然に防げました。

こうした危険は橋梁や建物等にもあり、引き続き危険の未然防止に努めていきます。

・同和対策事業は終わったはず？

解体費用が1248万円？

今回、解体となる元共同作業所は、昭和元年の地方改善事業の一環としての歴史を持つ物件。入居者との契約を理由に長年放置されていたこの物件は、屋根は抜け、壁もない荒れ放題のまま20年間廃屋状態でしたが、ようやく契約解除になり、解体されることに。

その解体費用が今回の予算審議に出されたが周りの家16軒への事前事後調査に677万円、解体とフェンス設置に607万円。専門家にも意見を聞いたが算定金額はけた違いか。これからは一般政策として通常の解体事業を実施し市民に説明できるよう申し入れました。

・市民相談のスピード化を

市役所には多くの市民相談が持ち込まれますが職員だけでなく弁護士など専門家対応もあります。今回私に持ち込まれた相談は、多くの部局や複数専門家が必要なうえ、時間との競争の問題もあり相談者はパニック寸前の状態。ご家族から聞き取りをし、問題の整理と優先順位を決定しスピーディな相談実務が可能となりました。すべてが解決した訳ではありませんが、全体の理解や道筋がわかったせいが一安心で落ち着かれました。

今後はこうした事例の増加も予測されるため、短時間に総合的な相談業務ができる部署や専門家の養成を目指していきます。

・他市居住職員のふるさと納税推進を

豊中市の常勤職員3,650人の半分以上は市外居住となっています。一方、市内に住む職員は税負担などの他、災害非常時での緊急招集や地域ボランティアへの参加など、居住地によって市への貢献と負担は大きな違いがあります。しかし、居住移転の自由は憲法で保障されており制約を加える事はできません。聞こえてくる不満や批判の解消、市への貢献を進めるには他市居住者が自由意思でできる豊中市への「ふるさと納税」を提案し拡大のお願いをしました。

・・言いたい放題・・

統一地方選挙が目前に迫り、各級議員のビラ攻勢や駅立ちが目立ってきた。

兵庫県議に端を発した政務活動費問題や風だけを頼りに当選した議員たちの不祥事が多発、政治不信に輪をかけることとなった。社会経験もなく地域も知らない落下傘候補といわれてもお構いなしだ。普段はやらないビラを配布し、駅立ちで名前や顔を売る行為も選挙という関所さえ超えれば当分安泰と考える議員が

いても決して不思議ではない。

こうした議員が出るのも第一義的には本人の資質に問題ありだが、私も含めて議員全体の責任や努力不足も免れない。

更に、批判を覚悟で申し上げれば低投票率やこうした議員を選んだ有権者の方々にも責任なしとも言えない。

議員の質を上げるためには徹底的な候補者研究と判断力が有権者にも必要だ。候補者に対して「市民や市のどんな利益に貢献したのか、成果は何か」を問うて欲しい。本物を見分けるためには欠かせない作業だと思うのだが ……